

平成 24 年度 高校生「愛とこころの交流体験」実践概要

1 学校の概要

本校は、創立 98 年の歴史と伝統を有し、「自学・誠実・審美」の校訓のもと、地域社会と連携を密にし、学ぶ心を培い、個性を生かす教育を推進している。生徒数は 346 人（男 108 人 女 238 人）で、各年次 3 クラスで編成されている。平成 8 年度から総合学科に改編され、さまざまな科目が用意されている。2 年次からは、人文国際、自然科学、生物生産、スポーツ科学、情報ビジネス、福祉サービスの 6 系列の総合選択科目と、自由選択科目から興味・関心・進路に応じて自由に学習することができる。そして、農業科目や福祉科目を選択した生徒は、保育園・小学校・福祉施設等との交流活動やボランティア活動を行う機会が多くある。

2 実践のねらい

- (1) 総合学科としての特性を生かし、上級学校、企業、地域産業などでの体験活動を通して、自己の進路や生き方を考える。
- (2) 園児や小学生、高齢者との交流を通して、「思いやりの心」や「命をいとおしむ気持ち」などを育む。
- (3) 清掃ボランティア活動を実施することで、社会における自己の役割を自覚させ、進んで社会に貢献する態度を養う。

3 実践の内容

(1) 地域から学ぶ交流体験

ア 農業体験活動（1 年次生一斉の就業体験）

実施日 12 月 7 日

内 容 地域のみかん農家へ 4～6 人のグループに分かれて行き、農家の方の指導のもと作業を行った。会話を通してコミュニケーションが深まるとともに、働くことの大変さを学ぶことができた。



みかんの収穫作業

イ 農業体験を通しての園児とのふれあい活動（農業科目選択者）

実施日 5 月 21 日 6 月 25 日 11 月 12 日

内 容 保育園児や小学生が来校し、生徒と一緒にバケツ稲の栽培や刈り取り、みかん狩り、

トウモロコシ栽培などを行った。後日、収穫したみかんを園児と共に試食し、楽しい交流になった。



バケツ稲の栽培



みかん狩り



トウモロコシ栽培

(2) 地域に貢献する交流体験

ア 清掃ボランティアで地域貢献活動（全校一斉）

実施日 5月28日

内容 学校周辺の河川の土手、神社の除草作業や溝掃除を行った。また、PTAの方にも参加していただいた。



イ 保内町養護老人ホーム「あけぼの荘」交流訪問（1年次1組）

実施日 2月6日

内容 施設内の花壇等美化緑化活動及び清掃活動を行った。



4 成果と課題

総合学科としての特性を生かし、農業を通しての体験活動や福祉のボランティア活動に参加する生徒が多く、地域の人々との触れ合いを通じてコミュニケーションの取り方を学ぶ機会となった。また、人を思いやる心や地域に貢献する気持ちも高まっていると感じられる。

今後も、地域に根ざした交流体験を通じて、豊かな心を育む教育活動をさらに推進していきたい。